

令和4年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人神戸国際コミュニティセンター
-----	----------------------

設立年月日	平成5年7月14日	
団体の設立目的・沿革	神戸の更なる国際都市としての発展をめざし、開発途上国を中心とする諸外国の抱える諸問題の解決のための国際協力を行うとともに、市民の国際交流の促進、多文化共生の推進などにより、地域の国際化を進め、もって国際社会の平和と繁栄に寄与することを目的とする。	
団体の主な事業内容	事業名	所管課
	国際協力事業	市長室国際課
	国際交流・多文化共生事業	市長室国際課
	留学生支援事業	市長室国際課
	海外事務所の運営	市長室国際課
代表者	理事長 武田 廣	

役職員数 (令和3年7月1日時点)	評議員、理事		監事		職員		合 計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		1	1
市派遣職員	1	1	-	-		6	8
市OB職員	1	-	-	-	-		1
その他	-	13	-	2	6	3	24
合 計	2	14	-	2	6	10	34

財務状況(単位:百万円)	令和2年度	令和元年度	差引
経常損益	0	2	△2
当期正味財産増減額	0	14	△14
流動資産	54	41	13
流動負債	52	38	14
長期借入金(固定負債)	0	0	0
期末現金預金残高	52	35	17

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	「地域国際化事業の重点化」・「互恵的な国際協力の推進」
ミッション②	「地域国際化事業の重点化」・「互恵的な国際協力の推進」に対応できる組織体制への見直し
ミッション③	企業や民間団体との協働の推進

■短期的なミッション（令和4年度のミッション）

ミッション①	3拠点の機能分担・効率的な事業実施の検討
ミッション②	民間団体との連携による持続可能な日本語学習支援事業体制の構築
ミッション③	国際協力機構（JICA）国内研修受託事業の見直し
ミッション④	留学生支援の充実

■経営指標（令和2年度）

経営指標				令和元年度	令和2年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	1.173	▲ 0.031	-1.2ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	21.86%	28.24%	6.4ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	0.40%	-0.08%	-0.5ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	623.16%	417.91%	-205.2ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	106.54%	102.96%	-3.6ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	89.30%	86.14%	-3.2ポイント
持続性	自己資本当期純利益率（ROE）	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	4.03%	-0.11%	-4.1ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産) / 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	4.03%	-0.11%	-4.1ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度～		
中長期的ミッション												
「地域国際化事業の重点化」・「互恵的な国際協力の推進」	中期経営計画 検討	神戸市 と協議		次期中期経営計画に基づく運営開始								
「地域国際化事業の重点化」・「互恵的な国際協力の推進」に対応できる組織体制への見直し	課題・問題点の 抽出	組織・ 人事制度 検討		神戸市と協議		内部制度 の整備		新制度(組織・人事)の運用				
企業や民間団体との協働の 推進	民間団体等へヒアリング 連携検討			連携関係の構築、事業の推進								
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
3拠点の機能分担・効率的な事業実施の検討	各拠点の事業内 容等の検討		他団体への訪問、事業の実施に向けた調整									
民間団体との連携による持続可能な日本語学習支援事業体制の構築	地域日本語教室・企業へのヒアリング調査				制度の見直し等、神戸市との協議				事業実施に向けた広報等			
国際協力機構（JICA）国内研修受託事業の見直し	※R3年度内にR4年度実施の防災研修受託事業見直し			見直し後の研修受託事業実施								
留学生支援の充実	留学生参加事業の検討 地域団体・大学等との 協議		留学生参加事業、他団体と連携した就職支援事業の実施									

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	<p>目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p>	<p>在住外国人支援を拡充するため再編した3つの拠点（新長田・三宮・御影）やふたば国際プラザにおいて、市民の国際交流の促進、多文化共生事業の推進などに取り組むとともに、より双方にメリットのある国際協力事業を推進し、神戸市政へ貢献していく。</p>
	<p>・新長田・御影の拠点において、在住外国人支援団体等と連携・協力関係を強化し、国際交流・多文化共生に関連するイベント等を開催し、在住外国人支援に取り組んでいく（R4年度：50回）。また、三宮では、引き続き日本語教育支援に取り組む。（R4年度合計来館者数：40,000人）</p>	
	<p>・3拠点における初級日本語クラスの開催、地域日本語教室との連携、外国人雇用企業への日本語教師の派遣等により、在住外国人の日本語学習機会の拡大に努める。 (R4年度：日本語学習者数1,400人、企業等への日本語教師紹介件数5件)</p>	
	<p>・国際協力機構（JICA）国内研修受託事業のうち、特定の地域に特化した研修の実施を見直す。 (▲1事業)</p>	
	<p>・大学等と連携したイベント等を通じて、留学生が交流を深める場を提供する。また、神戸市や大学等と連携し、KICCの拠点も活用しながら、留学生を含めた在住外国人向けの就職支援事業に取り組み、留学生の市内就職を促進する。</p>	

■ 市支援策の活用状況

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（1）中長期的ミッションの達成状況

- ・地域国際化事業の重点化、双方にメリットのある国際協力事業へのシフトを踏まえた中期経営計画（R5～R9）を策定し、KICCのHPにて公表を行った。
- ・効率的な事務執行体制の構築のため組織改正を実施した。また、他都市への調査やヒアリングを行うなど、効果的な人事制度の検討を進めた。
- ・多文化共生コーディネーターを配置する等により、大学や外国人支援団体等との事業の連携を拡大した。また、国際交流・多文化共生の担い手を確保し、新たな事業に着手した。加えて、さらなる担い手の確保に向けて検討を進めた。

（2）短期的ミッションの達成状況

- ・大学や外国人支援団体等と連携し、KICCの拠点において在住外国人支援事業や日本人及び外国人双方の相互理解を深めるイベント等を238回開催した。（KPI 50回）
- ・大学や外国人支援団体等と連携した事業の実施や日本語学習支援の拡充等により、年間38,005人（オンラインの利用者含む）がKICCの拠点を利用した。（KPI 40,000人）
- ・初級日本語クラスの3拠点での開催や日本語学習支援事業を実施した。また、地域日本語教室との連携のため、連絡会議の開催、日本語教育人材を対象とした研修、地域日本語教室への助成による開催支援を行うこと等により、日本語学習者数は1,430人となった。（KPI 1,400人）。
- ・さらに、企業への日本語教師派遣の拡充に努め、市内企業へのアプローチやヒアリング等を行い、企業2社への日本語教師派遣を実施した。（KPI 5社）
- ・国際協力機構（JICA）国内研修受託事業について前年度から2事業の見直しを行った。（KPI ▲1事業）
- ・留学生と市民との交流イベントの実施等留学生が交流を深める場を提供した。（R3：9回 ⇒ R4：21回）
- ・また、神戸市を含む行政機関や民間団体と連携した就職支援事業や、大学と連携した在住外国人向けキャリアサポート・起業支援、進学・就職相談を実施した。（就職支援事業 R3：2回 ⇒ R4：6回 キャリアサポート 毎週2回開催(R3,R4)）

（3）市政への貢献・市民への還元状況

- ・さらなる在住外国人の増加が見込まれる中、多言語による一元的相談窓口の設置や、在住外国人への日本語学習支援や国際交流・多文化共生事業の実施により、日本人・外国人の相互理解の促進を図り、双方にとって暮らしやすいまちづくりの実現に努めた。

■ 外郭団体マネジメント推進本部の評価

(1) 総合的意見

中長期的ミッションの達成に向け、短期的なKPIを概ね達成するなど、着実に取組を進めている。今後、さらに地域の国際化を推進するため、KICCの認知度向上や広報の強化に取り組み、来館者数を増やすなど、3つの拠点の効果的な活用に努めること。また、持続可能な外国人への支援体制の構築に向け、企業や民間団体との協働を一層推進すること。

(2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	ミッションを踏まえた中期経営計画の策定や組織改正、大学等との連携推進など、長期的ミッションの達成に向け、前進していると考え。今後も、短期的なミッションに着実に取り組み、地域国際化事業の重点化、及び、互恵的な国際協力を推進すること。また、組織体制の強化や、企業や民間団体との連携による持続可能な体制の構築に向けた検討を進めること。
短期的ミッション	ミッションを踏まえて設定した団体目標に一部未達成の項目がある。特に3拠点のさらなる活用を進めるとともに、民間団体との連携による日本語学習支援事業体制の構築については、これまでの実績の検証も実施し、より良いあり方を検討すること。
団体目標の達成状況	来館者数は、KPIに対し9割ほどであり、概ね達成しているが、今後より一層、認知度の向上や広報の強化に努め、さらなる増加を目指すこと。一方で、イベント開催についてはKPIを大幅に超えて開催している。 企業への日本語教師派遣については、KPIが未達であるが、原因と今後の方針について検討すること。 その他の受託事業の見直しや、大学等との連携、留学生の就職支援等には、着実に取り組んでいる。 引き続き、多様化する外国人を取り巻く課題も踏まえながら、効果的な取り組みを実施すること。
市への貢献・市民への還元状況	在住外国人に対する相談・情報発信の実施や、日本語学習機会の提供、日本人と外国人の理解醸成のための各種イベントの実施等、本市の多文化共生の取組の中枢を担っており、貢献度は高い。

(3) 今後の方向性

- 団体の存廃も含めた検討を要する団体
 継続的な見直しを要する団体
 取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体